

## 大草谷津田いきものの里 自然観察ガイド

### 谷津田で出会う虫

芳我めぐみ(千葉市)

日 時：2009年8月2日(日)10時30分～12時 天候：曇り

参加者：30名（大人18名 子供12名）

担当指導員：松本美千代・芳我めぐみ

テーマ「谷津田で出会う虫」は虫の名前を覚えるだけなく、その虫が自然の中でどのような暮らし方をしているのか、他のいきものとどう繋がっているかを見てもらいたいと思った。そこでメモ用紙とペンを希望者に渡し見つけたものを1枚に1種書いてもらうことにした。駐車場脇の林縁から早速観察開始。シラカシの枝にアオバハゴロモ、アミガサハゴロモが一列に並んでいる。セミの仲間なので木の汁を吸うことを話す。地面を這うオオヒラタシデムシやダンゴムシは子供たちのお気に入りだ。羽化に失敗したアブラゼミにオオヒラタシデムシの幼虫、成虫が集まっていた。死体の掃除屋さんであることを話す。少し気味悪そうに見ていたが、図鑑からの知識でなく実際目で見たものは子供の心に残ると思う。ヨシの葉裏にクロコノマチョウの幼虫を発見。イネ科が幼虫の食草であり、虫好きの人は食痕を見つけ食べ主を探すのだと話した。この他アリジゴク、アブラゼミの羽化開始の個体、シュレーゲルアオガエル、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ノシメトンボ、アメンボウ、ゴマダラチョウの羽化間近な蛹など、次々に見つけては観察。雨が降り出したところで木の下でまとめをした。食物連鎖を表にしたものに記録したメモを一人ずつ貼り付けると、底辺から上部まで埋まっていく。命が繋がっていることを実感してもらえたのではないかと思った。最後にカタバミとヤマトシジミを見せ、身近な場所でもよく観察すると、いろいろわかって楽しいことを話し観察会を終了した。